

社会資本総合整備計画

平成 30年 2月 16日

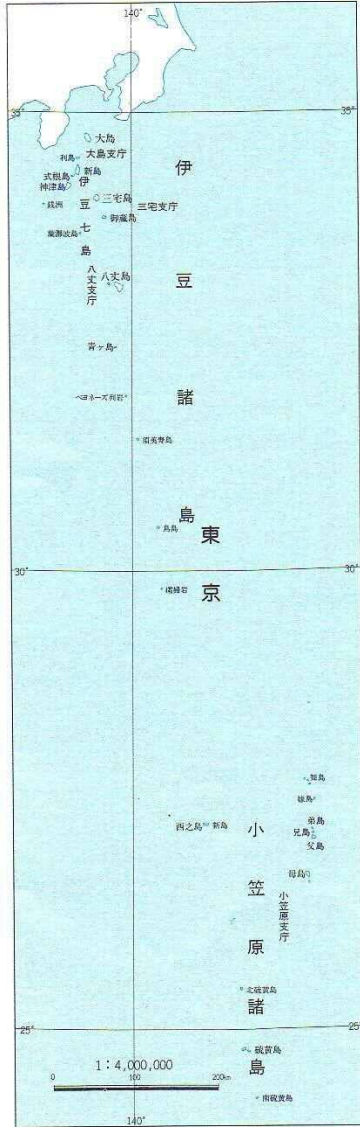
計画の名称	7 豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺を守る海岸整備										重点計画の該当					
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)					交付対象	東京都									
計画の目標	自然環境への影響や利用者に配慮した海岸保全施設の整備を行い、特色ある美しい海岸を保全する。															
計画の成果目標 (定量的指標)	・ 海岸保全施設の整備により、波浪の影響による侵食から背後地等の保全を図る。															
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考			
											当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)		
											0m ² /年	0m ² /年		約1,000m ² /年		
A I 魅力的な水辺空間の創出 海岸保全施設の整備により解消される波浪による海岸の侵食面積												・ 定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	810 百万円	A	810 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)		0.00%			
交付対象事業																
A I 魅力的な水辺空間の創出																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
A09-001	海岸	離島	東京都	直接	-	和田浜海岸環境整備事業	人工リーフ L=350m	新島村						810		
												小計 (魅力的な水辺空間の創出)		810		
												合計		810		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
									合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
									合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31			
									合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

交付金の執行状況

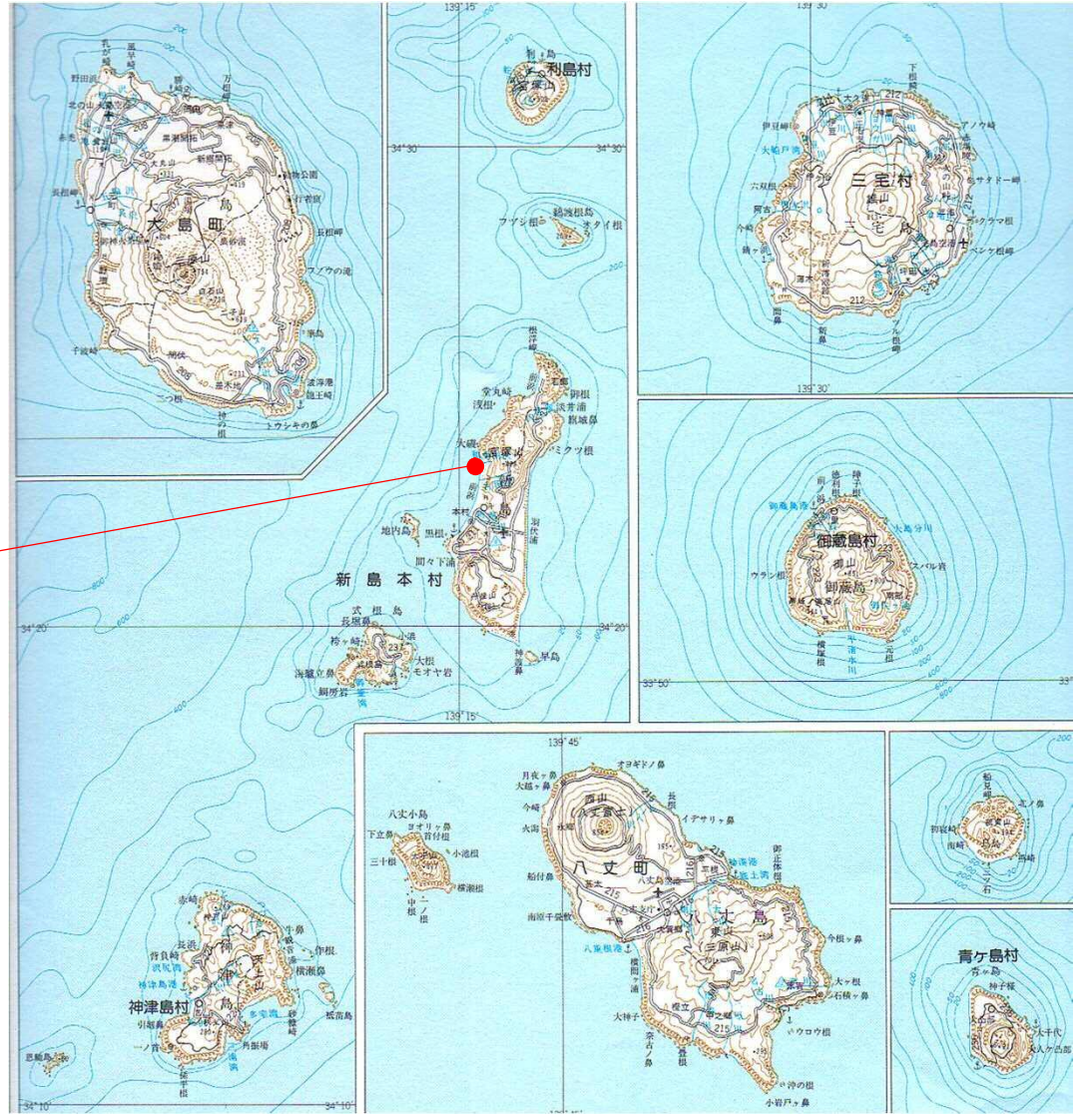
	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	60	70			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	60	70			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	60	70			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率が10%を超えて いる場合その理由	-	-			

(参考図面)

計画の名称	7 豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺を守る海岸整備	交付対象	東京都
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度		



A09-001 和田浜海岸環境整備事業



凡 例	
A: 基幹事業	—●—
B: 関連社会資本整備事業	—●—
C: 効果促進事業	—●—
補助事業	—●—
都 県 境	- - - - -

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 豊かな自然環境と調和し、特色ある美しい水辺を守る海岸整備

都道府県・市町村名: 東京都

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 目標が基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域の土地利用の状況等を踏まえた目標となっている。	○
2) 地域の住環境等の状況を踏まえた目標になっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
④事業効果の見込みの妥当性	
1) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
2) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1) 事業実施に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○